



期間 令和4年 1月26日(水)～2月22日(火) [全5回]

実施場所 産業医科大学
〒807-8555 八幡西区医生ヶ丘1-1

申込・問合せ先 産業医科大学 大学管理課
〒807-8555 八幡西区医生ヶ丘1-1
TEL: 691-7205 FAX: 602-5482

時間 18:00～20:00

申込締切

1月7日(金)

スマートフォンからも
お申込みできます▶



定員 20名

受講料 3,000円

受講生への
メッセージ

実施機関：産業医科大学

人々が働くことは生活の手段であるとともに、生きがいとも言えます。今、社会では働き方に大きな転換がおきています。たとえば長時間労働を制限すること、人工知能や情報通信処理技術の活用が上げられます。さらに高齢者の方の就業支援や、子育てや介護をしながら仕事を続ける仕組みづくりなどが必要になっています。本コースの担当講師は、働き方を科学する産業医科大学 産業衛生科学科の教員です。皆様と一緒に身近な問題を考えてみたいと思います。是非、ご参加ください。

回数	月日	テーマ・内容	担当講師
1	1/26 (水)	生活とかおり 古代エジプトのクレオパトラはクローブの香りで有名ですが、日本にも独特のかおり文化があります。お香のほか、東山文化では香道が普及しました。皆様と生活環境とかおりについて考えてみたいと思います。	産業医科大学 教授 宮内 博幸 働く人の環境を管理する作業環境管理学が専門です。
2	2/2 (水)	疲労とは 疲れは誰もが経験したことがあると思います。しかし、測定・評価する方法は確立されているとは言い難いです。ありふれた状態である疲労について改めて考えてみたいと思います。	産業医科大学 講師 山田 晋平 人間工学や労働生理学が専門。疲労の評価システムの研究を行っています。
3	2/9 (水)	働くことのモチベーション 一人一人が力を発揮し生き生きと自分の仕事をしていくために、「働くことのモチベーション」は重要です。このテーマについて、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。	産業医科大学 教授 河村 洋子 人々が健康で安全に働くための社会心理的な環境づくりに関する実践的な研究に取り組んでいます。
4	2/16 (水)	部屋の空気、気になりませんか？ 部屋の換気が重要になっています。換気の仕方や、季節で気を付けることなどを考えてみましょう。また、多くの化学物質が使われており、健康を害する場合もあります。注意すべきことを紹介します。	産業医科大学 教授 原 邦夫 化学物質の危険性有害性の研究をしています。 産業医科大学 教授 石松 維世 空気質評価を研究しています。
5	2/22 (火)	ますます大事な発達障害者への支援 発達障害者の能力を十分に発揮するためには、周りの人たちの理解と配慮が必要です。まずは発達障害者の特性を理解しましょう。発達障害者の特性は十人十色です。	産業医科大学 助教 樋上 光雄 発達障害者の労働安全衛生教育の研究をしています。

スポット受講
詳細は2ページ
料金
1,000円/回
1回限り